

平成29年8月9日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹  
(コード番号：4579)  
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 河田 喜一郎  
(TEL. 052-446-6100)

### カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB) の日本における特許査定のお知らせ

カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB : Potassium-Competitive Acid Blocker) \*の用途に関して当社が日本で出願しておりました特許 (出願番号2016-125015) は、これまで審査中でありましたが、本日、特許査定\*の連絡を受けましたのでお知らせいたします。

今回の特許査定により、当社が創出したtegoprazan (化合物コード：RQ-00000004、CJヘルスケア株式会社化合物コード：CJ-12420) のみならず、食間伝播性収縮運動 (IMC) \*のphaseⅢ収縮を発生させる全てのP-CABに対して、ヘリコバクターピロリ除菌薬と併用投与する薬剤としての権利が認められました。P-CABの胃酸分泌抑制及びIMCのphaseⅢ収縮の発生によって、ヘリコバクターピロリ除菌の効果及び副作用等が改善されることが期待されます。

P-CABは、胃食道逆流疾患 (GERD) \*治療薬として現在の第一選択薬であるプロトンポンプ阻害剤 (PPI) に代わる、新しい作用機序の胃酸分泌抑制剤です。これまでの当社の発明により、P-CABの、GERD、機能性消化不良、腹部膨満感、不快感及び便秘などの消化管運動異常が関与する疾患または症状を改善する消化管機能調整剤または消化管運動賦活化剤としての用途に関する権利が認められておりますが、今回の発明により、IMCのphaseⅢ収縮を発生させるP-CABとヘリコバクターピロリ除菌薬との併用剤としての用途がさらに加わりました。

当社は、平成22年9月、CJ第一製糖株式会社 (現：CJヘルスケア株式会社、本社：韓国ソウル市、社長：Seok-Hee Kang、以下「CJ社」) との間で、tegoprazanを含むP-CABについて東アジア地域を対象にライセンス契約を締結し、平成26年11月には新たに東南アジアを対象としたライセンス契約を締結しております。現在 tegoprazanは、韓国において、GERDを中心とした第Ⅲ相臨床試験が進行中であり、本年9月に韓国食品医薬品安全庁 (KFDA : Korea food and Drug Administration) への承認申請が行われる予定です。

当社は今後もCJ社と協力し、韓国におけるtegoprazanの一日でも早い上市を目指すとともに、今後も引き続きtegoprazanを含むP-CABの知的財産の強化に注力してまいります。

なお、本特許査定により、平成29年12月期 (平成29年1月1日～平成29年12月31日) の当社業績への影響はございません。

以 上

<ご参考>

**【カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (Potassium-Competitive Acid Blocker : P-CAB) について】**

P-CABは、胃酸分泌の最終段階を担う $H^+/K^+$ -ATPase (プロトンポンプ) をカリウムイオンと競合的に阻害する、次世代の胃酸分泌抑制剤です。全世界で約2.5兆円に上る胃酸分泌抑制剤の市場で、PPIあるいは $H_2$ ブロッカーに対抗して、大きなマーケットシェアを取ることが期待されます。現在、日本ではボノプラザンが、韓国ではレバプラザンが上市・販売されています。

**【胃食道逆流症 (GERD : gastroesophageal reflux disease) について】**

胃食道逆流症 (GERD) は、食道粘膜障害を有する逆流性食道炎 (RE:reflux esophagitis) と食道粘膜障害の認められない非びらん性胃食道逆流症 (NERD : non-erosive reflux disease) を含みます。

**【食間伝播性収縮運動 (IMC: interdigestive migrating contractions) とは】**

食間伝播性収縮運動とは、正常状態の空腹期に胃から肛門側へと伝播していく、協調的な消化管運動収縮であり、phase I 収縮からphase IV収縮の4相から成り立ちます。IMCの4相のうち、phaseIII収縮は最も強い律動的な収縮運動の相です。

**【特許査定について】**

各国特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を納付することによって、登録特許となり、該当する国において特許権が発生することになります。